

事務事業マネジメントシート (21年度実績と22年度計画)

22年度予算確定後 平成 22 年 3 月 26 日 作成
 21年度決算把握後 平成 22 年 5 月 17 日 作成

事務事業名		北バイ取付1・2号線改良事業				<input type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	1	人々が安全に安心して暮らせるまちづくり			所属部	都市建設部	課長名	上原哲也
	施策	5	道路ネットワークの充実			所属課	建設課	担当者名	上田 伸介
	基本事業	13	計画的な道路の整備			所属班	工務班	(内線)	2278
予算科目		会計	款	項	目	事業連番	法令根拠	成果優先度評価結果	10
		1	8	2	3	10079		コスト削減優先度評価結果	6
終了、開始年度		<input checked="" type="checkbox"/> 21年度で終了 <input type="checkbox"/> 22年度から開始		事業期間		<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 年度) <input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (17 ~ 21 年度)			

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】 (開始した背景・きっかけ・今後の状況変化を含む)	本事業は、平成19年度北バイパス本線の供用開始に伴い、取付道として市が市道認定し用地買収、補償をおこなう事業である。施行延長L=220m。なお、工事の施工は国土交通省がおこなう。北バイパス本線開通計画に伴い地元要望を受け、必要性検討の結果、平成17年度より事業開始となった。事業開始時期は道路復員も狭小で砂利道であり、利用者の安全な通行に支障を来している。今後は用地の取得により拡幅、舗装等の整備がおこなわれ、利用者の安心、安全な通行が期待できる。(平成22年度から事務事業統合により市道改良事業に登録する。)
【業務の流れ】	17年度～①地域より要望を受け、②現状の把握により必要性の検討、③国土交通省との事前協議、④測量設計業務、関係機関との協議、⑤市道認定、⑥地権者への事業説明 18年度～①土地鑑定業務委託、②買収単価協議③税務署への事前協議、④地権者との境界立会、⑤用地交渉、⑥契約、登記、代金支払い
【主な予算費目】	委託料、公有財産購入費、補償補填及び賠償金
【意見や要望】	地域住民や道路利用者から拡幅、舗装の要望がある。
関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	

1 現状把握の部 (DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標	
① 手段(主な活動) 21年度実績(21年度に行った主な活動) (DO)	22年度計画(次年度に計画している主な活動) (PLAN)
関係機関協議、測量設計、積算、工事発注、現場監督、中間・竣工検査、支払	境界確定、用地買収
④活動指標(事務事業の活動量を表す指標)=①の指標 (単位)	(単位)
⇒ ア 施工済延長 m	イ 用地買収面積 m ²
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	⑤対象指標(対象の大きさを表す指標)=②の指標 (単位)
北バイ取付1・2号線	⇒ ア 全体延長 m
	⇒ イ 本線全用地買収面積 m ²
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	⑥成果指標(意図の達成度を表す指標)=③の指標 (単位)
安全に快適に移動できる。	⇒ ア 整備率 %
	⇒ イ
*⑥成果指標設定の理由と平成22年度目標値設定の根拠	
2号線については、平成21年度完了事業の為、無。1号線については、事業休止。	

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	19年度 実績(決算)	20年度 実績(決算)	21年度 目標(当初予算)	21年度 実績(決算)	22年度 目標(当初予算)	23年度 予定	24年度 見込
④ 活動指標	ア	m	40	40	40	40			
	イ	m ²	83	83	83	83			
⑤ 対象指標	ア	m	220	220	220	220			
	イ	m ²	639	639	639	639			
⑥ 成果指標	ア	%	18	18	100	100			
	イ								
投資 入 量	事業 内 訳	国庫支出金	千円						
		都道府県支出金	千円						
		地方債	千円	4,960					
		その他	千円						
		繰入金	千円						
		一般財源	千円	265					
	(A) 事業費計	千円	5,225	0	0	0	0	0	0
	(A)のうち指定経費	千円							
	(A)のうち時間外、特勤	千円							
人件 費	正規職員従事人数	人	2	7	2	5			
	延べ業務時間	時間	50	224	100	203			
	(B)人件費計	千円	199	896	398	808	0	0	0
トータルコスト(A)+(B)		千円	5,424	896	398	808	0	0	0

総トータルコスト 全体計画	
17 ~ 21 年度	
(期間限定複数年度のみ記載)	29,820
	1,574
	31,394
	10
	410
	1,632
	33,026

合志市

事務事業名	北バイ取付1・2号線改良事業	所属部	都市建設部	所属課	建設課
-------	----------------	-----	-------	-----	-----

2 評価の部 (SEE)

*原則は21年度の事後評価、ただし複数年度事業は21年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①21年度目標達成度評価 事務事業の前年度実績は前年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因は？	<input type="checkbox"/> 達成した	<input checked="" type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【原因】 ↷
	北バイ取付1号線について、境界紛争の為、境界確定できず、用地交渉まで至らなかった。また、金額面での折り合いが付かず交渉が難航しているものがある。		
有効性評価	②22年度目標達成見込み 事務事業の本年度目標値に対して本年度の見込みはついているか？	<input type="checkbox"/> 目標達成見込みあり ⇒【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成は厳しい ⇒【理由と対策】 ↷
	民々境界確定が行われないと、用地買収交渉に入れない。		
効率性評価	③成果の向上余地 次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる余地はあるか？成果が頭打ちになってないか？	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 ↷
	事業の完成により成果が向上するため、向上余地がある。		
公平性評価	④類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある ↷ (具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 ↷
	本路線整備については、国交省をはじめ関係機関と協議を重ね、既に最適な施行方法により連携をおこなっており、これ以上の連携はできない。		
役割分担評価	⑤事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 ↷
	用地買収の単価や測量設計についても、コスト縮減に努め経済比較を行いながら決定しており削減の余地はない。		
役割分担評価	⑥人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託できないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 ↷
	本事業は補償鑑定や測量設計は外部に委託し業務時間を削減しており、その他の業務は必要最小限度内において職員を分担しているため削減余地はない。		
役割分担評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 ↷
	地域住民はもとより一般通行者の利用もあることから、公正であると判断できる。		
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化 事務事業のやり方や手段においてこれまでの行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体に移行出来ないか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 ↷
	市道維持管理は道路管理者である市が行う事となっているので、民間には委託できない。		

3 評価結果の総括(SEE) ※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

<p>民々境界確定作業を再度行い、用地買収に入る。</p>

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

<p>(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可</p> <p><input type="checkbox"/> 廃止 <input checked="" type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善)</p> <p><input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)</p> <p><input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)</p>	<p>(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上		○		維持					低下			
				コスト																			
		削減	維持	増加																			
成果	向上		○																				
	維持																						
	低下																						

(3) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策
平成21年度完了事業の為、無。(1号線)